

令和5年度赤坂地区高齢者相談センター 事業評価チェックシート

【事業計画・報告に掲げる大項目】

- 1 設置目的達成に向けた取組
- 2 介護予防ケアマネジメント
- 3 総合相談支援
- 4 権利擁護業務
- 5 包括的・継続的ケアマネジメント
- 6 その他の事業
- 7 運営体制

○このチェックシートは、高齢者相談センター（地域包括支援センター）が、センターの基本的な業務について、センターがセルフチェックすることで日常的に業務の実施状況を点検するとともに、年度末における点検結果を地域包括支援センター運営協議会における事業評価に反映するものです。

○高齢者相談センターは、各チェック項目ごとの実施状況に応じた選択肢を記入してください。

- a：適切にできている
- b：概ねできている
- c：できていない（実施していない）

○評価欄は、事務局がチェックシート等を元にした各センターへのヒアリングを実施後、記入します。
（S、A、B、Cの4段階評価）

※事業評価チェックシートの評価は、事業評価コメントシート（様式2）における評価のベースとします。

令和5年度赤坂地区高齢者相談センター事業評価チェックシート

チェック項目		高齢者相談センター記入欄	事務局記入欄
1. 設置目的達成に向けた取組		(選択肢)	記入欄
地域の特性に合わせた現状分析・課題分析が適切に行なわれている		a ・ b ・ c	a
当初の計画に沿って取組が実施されている		a ・ b ・ c	a
当該年度の業務における課題が明らかになっている		a ・ b ・ c	a
職員全員が課題の内容を理解し、一丸となって取り組んでいる		a ・ b ・ c	a
			A
2. 介護予防ケアマネジメント		(選択肢)	記入欄
要 支 援 1 ・ 2	利用者に十分な説明を行い、適切なアセスメントに基づいたケアプランの作成が行われている	a ・ b ・ c	a
	必要なモニタリングと評価ができています	a ・ b ・ c	a
	ケアプランの質を向上させる体制を整備し、職員の実務にいかせる取組を行っている	a ・ b ・ c	a
	介護予防支援業務における利用サービス事業所及び委託する居宅介護支援事業所の選定は適切に行っている	a ・ b ・ c	a
	委託した介護予防サービス計画の内容を確認し、適宜、委託先の居宅介護支援事業所の支援を行っている	a ・ b ・ c	a
介 護 予 防	対象者の状態を的確に把握し、適切なケアマネジメントの目標設定ができています	a ・ b ・ c	a
	事業実施者と連携し、適切なモニタリングや評価ができています	a ・ b ・ c	a
	評価が困難な事例等について情報収集・共有し、ケアマネジメントを行っている	a ・ b ・ c	a
	介護予防の必要性など、普及啓発を日常的に行っている	a ・ b ・ c	a
			A

3. 総合相談支援	(選択肢)	記入欄	評価
高齢者のあらゆる相談を受け入れられる体制が整っている	a ・ b ・ c	a	A
個別訪問等により、地域の高齢者の状況把握を行っている	a ・ b ・ c	a	
困難事例の対応への手続きや流れを職員全員が理解し適切に対応できる	a ・ b ・ c	a	
地域の社会資源やニーズを把握し、地域のネットワーク構築を行っている	a ・ b ・ c	a	

4. 権利擁護業務	(選択肢)	記入欄	評価
成年後見制度等の利用への支援・啓発を行っている	a ・ b ・ c	a	S
高齢者虐待の通報に対し、適切に対応している	a ・ b ・ c	a	
高齢者の消費生活被害の防止に関する啓発等を行っている	a ・ b ・ c	a	

5. 包括的・継続的ケアマネジメント	(選択肢)	記入欄	評価
包括的・継続的ケアマネジメントの体制を構築し、関係機関と連携して対応している	a ・ b ・ c	a	A
地区内の介護支援専門員（居宅介護支援事業所）を把握し、ネットワークの構築を図っている	a ・ b ・ c	a	
介護支援専門員を対象とした研修や事例検討会を実施するなど、支援体制を構築している	a ・ b ・ c	a	

6. その他の事業	(選択肢)	記入欄	評価
介護予防普及啓発事業を実施している	a ・ b ・ c	a	A
認知症サポーター養成講座を実施している	a ・ b ・ c	a	
港区独自事業の実施にあたっては、関係部署と連携して実施している	a ・ b ・ c	a	
港区が実施する事業等へ、関係機関と連携して実施している	a ・ b ・ c	a	
認知症予防の啓発及び認知症高齢者への対応を行っている	a ・ b ・ c	a	

7. 運営体制		(選択肢)	記入欄	評価
配 置 員	地域包括支援センターとして、専門職種が適正に配置されている	a ・ b ・ c	a	A
	指定介護予防支援事業所として、専門職種が適正に配置されている	a ・ b ・ c	a	
体 制	各職種の専門性を活かした、チームアプローチの体制ができている	a ・ b ・ c	a	
	センター長及び管理者が日頃の業務内容を網羅的に把握している	a ・ b ・ c	a	
	センター長及び管理者が業務評価（セルフモニタリング）を定期的に行っている	a ・ b ・ c	a	
	センター内での会議、ミーティング等を通じて職員間の情報の共有ができている	a ・ b ・ c	a	
	職員がセンターの設置目的、区立施設（指定管理制度）であることを正しく理解している	a ・ b ・ c	a	
	職員の研修履歴や年間の研修計画を作成するなど、職員が計画的に研修参加できるよう配慮している	a ・ b ・ c	a	
	日常業務における課題や反省点等を共有し、センター業務の改善につなげている	a ・ b ・ c	a	
	緊急時対応マニュアル等を整備し、緊急時に迅速かつ的確な対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	災害時対応マニュアル等を整備し、災害時に迅速かつ的確な対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	震災等の発生を想定した「業務継続計画」を策定している	a ・ b ・ c	a	
	苦情解決についてのマニュアル等を整備し、的確な苦情対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	職員が個人情報保護に関する法令等を理解し、遵守している	a ・ b ・ c	a	
	相談時に相談者のプライバシーを確保している	a ・ b ・ c	a	
特定の団体等に有利又は不利にならないよう、中立かつ公平な運営がなされている	a ・ b ・ c	a		
施 設 運 営	物品管理責任者を定め、区から貸与されている備品を把握し、適切に管理している	a ・ b ・ c	a	
	施設及び付帯設備を常に良好な状態で維持及び保全並びに保守管理を行っている	a ・ b ・ c	a	
	水道、電気等の使用について、エネルギー使用量を把握し、施設の省エネルギー化に取り組んでいる	a ・ b ・ c	a	
	指定管理料や利用料金等、日常から適切な会計処理が行なわれている	a ・ b ・ c	a	
	指定管理業務の経費にかかる関係書類を適切に保管している	a ・ b ・ c	a	
	労働関係法令や就業規則に則り適切な運営が行なわれている	a ・ b ・ c	a	

令和5年度赤坂地区高齢者相談センター 事業評価コメントシート

		高齢者相談センター記入欄		運営協議会 記入欄	
項目		(1) 今年度の取組のプロセスについて、良かった点や工夫した点等を記入してください。	(2) 次年度への課題を記入してください。	評価	コメント
1	設置目的達成に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・区民講座や予防講座、民生委員勉強会を実施。地域ネットワーク強化のため、赤坂地区内の内科クリニック・薬局に挨拶まわりを行い、この見える関係づくりに努めた。 ・地域サービス事業所との意見連絡会に参加し、地域での連携方法等の検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会や地域サロン、いきいきプラザや特別養護老人ホーム、デイサービスなど幅広く関係機関と連携を図り、区民講座や測定会などを開催していく。 ・地域の医療機関、薬局等とより連携を図るため、顔の見える関係づくりを日常的に行う。 	A	関係法令等を遵守し、設置目的に沿った運営が行われています。フットワーク軽く地域に出向き、顔の見える関係づくりに取り組んでいます。
2	介護予防ケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の居宅介護支援事業所と連携を図り、適切にサービス調整をすることができた。 ・地区内のいきいきプラザ、ヘルシーナ（健康増進センター）との連絡会を毎月開催し、協力体制を整えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきプラザと協力しながら体成分分析装置を使用した測定会や介護予防講座などを実施する。また、ふれあい相談室と協力してみんな元気塾（介護予防事業）の案内等を行い、参加者を増やせるよう支援していく。 ・いきいきプラザ・ヘルシーナと連絡会を毎月実施し、介護予防事業への連携強化を図る。 	A	区民が適切なサービスを受けられるよう、地域の居宅介護支援事業所と連携を図ることができました。また、地区内の施設と連携し、介護予防事業を進めることができました。
3	総合相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数は前年度と比較してほぼ横ばい。感染予防を徹底しながら、適切に訪問や来所相談を行った。 ・ふれあい相談員と個別のケースで協力・連携し、チームとして支援することができた。 ・赤坂警察署・民生委員など関係機関との連携体制が図れ、問題の早期発見や適切な対応を迅速に行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕のミーティングでは、ふれあい相談員とも連携を図り、縦割りにならない柔軟な体制を構築する。 ・全体ミーティングでは、個別ケースの情報共有や対応方法を検討し、職員全体のレベルに差が出ないようマニュアルを用いて事例検討を行っていく。 	A	ふれあい相談員も含め、職員間のフォロー体制を強化することで、相談件数が増加する中でも丁寧に対応することができました。また、関係機関と連携し、迅速な対応を行うことができました。
4	権利擁護業務	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の虐待通報は24件、継続している虐待ケースが10件あり、ケア会議を25件開催。赤坂地区総合支所とも連携を図り、役割分担をしながら対応することができた。 ・成年後見制度の活用については、社会福祉協議会と連携し、専門職のアドバイスや自宅等へ同行訪問・説明を行い、迅速な対応ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・養護者支援を意識しながら、赤坂地区総合支所と情報共有を図り、迅速な対応に繋げていく。 ・社会福祉協議会や赤坂警察署、消費者センターなど様々な関係機関と連携を図り対応していく。 	S	なかなか終結に結びつかず長期化しているケースが多くある中でも、赤坂地区総合支所と役割分担をしながら、適切に対応することができました。成年後見制度については、社会福祉協議会と連携し、迅速に対応しました。
5	包括的・継続的ケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のケアマネジャーの資質向上のため、高齢者相談センター主催のケアマネジャー向け勉強会を3回実施した。そのうち1回は、地区内の多職種連携を図るため、居宅介護支援事業所だけでなく、訪問介護事業所などの事業所にも参加いただき、課題や情報の共有を図る場とすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続してケアマネジャーの資質向上のため交流会や研修会を開催する。 ・職員のケアマネジメント力強化のため、研修参加の機会を増やし、センター内でのカンファレンスも定期的に開催していく。 	A	地域のケアマネジャー向けの勉強会や多職種連携の機会を設け、ケアマネジャー支援及び資質向上に取り組みました。
6	その他の事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地区地域ケア会議は個別ケースに関する会議を年に2回、自立型地区地域ケア会議を1回実施。 ・認知症予防に繋がる内容を企画し、年6回赤坂deオレンジカフェと同日に絆の会（介護家族の会）も開催した。 ・認知症サポーター養成講座は、地区内の薬剤師会や中学生向けに実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・困難ケース等について、多職種で検討できる地域ケア会議を積極的に活用し、問題解決の方法を検討していく。 ・介護家族の会やオレンジカフェの周知活動を積極的に行うとともに、センター以外での開催場所を検討し、幅広く参加者を増やしていく。 	A	地区地域ケア会議を通じて、課題解決に向けた検討ができました。前年に引き続き、介護家族の会については参加者の獲得について工夫が必要です。
7	運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣職員の入退職が2名あったが、11月に常勤の入職。新人職員マニュアルを活用しながら、職員同士でフォローをしあい、業務の引き継ぎを行った。全体的にはあまり入れ替わることなく安定した人員配置で運営することができた。 ・毎日、朝夕に申し送りを行い、職員間の情報共有や困難ケースの対応方法などを検討。全職員参加のセンター内カンファレンスを月に1回行い、情報共有や対応方法の検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各個人のスキルアップを目的に、積極的な研修、勉強会への参加。また、学んだ知識をセンター内で共有し、全体のレベルアップに繋げる。 ・職員定着のため、申し送りなどを通じて情報共有を確実にし、職員同士のフォロー体制を構築する。 	A	人員体制が整わない時期がありましたが、全体的には職員があまり入れ替わることなく安定した運営ができました。朝夕の申し送りやケース検討等を通して情報共有を行い、フォロー体制を整えました。また、法人内では研修の機会を多く設け、職員の資質向上を行いました。

		高齢者相談センター記入欄		運営協議会 記入欄	
項目		(1) 今年度の取組のプロセスについて、良かった点や工夫した点等を記入してください。	(2) 次年度への課題を記入してください。	評価	コメント
8	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・赤坂地区総合支所と月1回定期連絡会を開催。必要に応じて随時会議を実施し、虐待ケースや対応困難ケース等の情報共有を図っている。赤坂地区総合支所協働推進課主催の赤坂地区運営会議（2か月に1回開催）にも参加し、赤坂地区内の保育園や児童館、特別養護老人ホーム等の福祉関係機関とも連携体制を図っている。 ・令和5年1月に行った自立支援型地域ケア会議より「高齢者の通いの場の立ち上げ」に焦点を当て活動。NPO法人の協力を仰ぎ、サロン活動が開始。令和5年10月より毎月開催し、毎回10名程度の参加者を募ることができている。 ・男性高齢者の社会的孤立予防のため、男性向け区民講座「男性の仲間づくりウォーキング 史跡を巡る散歩道」を開催し、港区観光協会の協力を得て、10名を超える参加者を募り実施した。 ・関係機関と連携しやすい関係が築けており、同行訪問や役割分担が行え、区民等へ適切な対応を図ることができている。今後も引き続き連携を図っていく。 			<p>地区地域ケア会議での話し合いを皮切りに地域サロンを立ち上げ・継続して実施できています。今後も継続して実施できるよう支援を行っていただきたいと思えます。</p> <p>高齢者人口が増加し、また、虐待ケースや対応困難ケースが増加しているため、関係機関とのさらなる連携強化をすすめ、区民等への適切な対応に期待します。</p>